

大阪工大通信 およど

みらいをつくる つたえる まもる。
大阪工業大学
OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

編集・発行/学生部学生課

〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1

E-mail: OIT.Gakusei@joshu.ac.jp

Tel: 06-6954-4651 Fax: 06-6951-7760

およどWebsite (本号をはじめバックナンバーをアップ)
<http://www.oit.ac.jp/japanese/public/magazine.html>

OIT Website ▶ <http://www.oit.ac.jp>

大阪工業大学通信

およど No.259

2018年3月



祝大阪工業大学学位記授与式

ご卒業・修了
おめでとう
ございます!

CONTENTS

- P2 卒業生に贈る言葉
- P3~5 卒業生特集
- P6 大学院の給付制奨学金が充実
- P7 「法人ボランティア表彰」を受賞
- P8 4月からの授業時間変更について

卒業生に贈る言葉

卒業生諸君の門出を祝して

長年の研鑽の甲斐あって、この度、卒業・修了される皆さんおめでとうございます。皆さんの喜びもさることながら、今まで皆さんを長年支えてこられたご家族の方々のお慶びもひとしおかと思えます。ご家族の方々に是非、感謝の気持ちを伝えてほしいと思えます。

さて、最近、「人生100年時代」と言う言葉を耳にします。これは、超寿命化し、人生100年時代になるということですが、そうなると、今までのように、教育・仕事・引退後の余生と言うそれぞれの人生のステージが今までのように年齢によって制限されるのではなく、それぞれのステージを何度か経験して、寿命を全うするに違いないと言われていました。また、最近、メディアで様々な分野でのAI（人工知能）の活用が毎日のように紹介され、将来の社会の在り方が一変する可能性について示されています。このような状況の中、将来どのような社会になるのか予想できません。いずれにせよ、これからの人生を送る上で、長く働く必要があるでしょうし、また、以前学んだことは古くなり、陳腐化するかもしれません。

そういう時代を生き抜くためには、常に新しい情報に触れ、勉強し続けることが必要です。卒業したから勉強は終わりであるということではなく、常に好奇心を持って勉強し続けてほしいと思えます。また、人的なネットワーク等の無形資産の重要性についても指摘されています。このことについても留意してください。

皆さんが社会人として健やかに成長され、良き人生を送られることを心より祈念します。



学長
西村 泰志

不断の努力で大きな成果を！

皆さんご卒業・修了おめでとうございます。皆さんは今、将来に向けて、いろいろな夢を抱いていることでしょう。その実現のためには不断の努力が不可欠ですが、一日一日の成果は実感できるほど大きなものではありません。しかし、後で振り返ってみると、その積み重ねが大きな成果につながっていることが多々あります。すぐに結果がでないと言ってあきらめずに、最後までやり抜いて、皆さんの夢がひとつでも多く実現することを祈っています。



学生部長
岡山 敏哉

協働の精神を大切に！

ご卒業・修了おめでとうございます。

皆さんは学生時代に研究・課外活動等を通じて様々な考えを持った人々と接してこられたと思います。優秀な人でも、自身の力のみで目標を達成することはなかなかできません。多くの人の意見を聞き、協力することが社会へ出ればますます重要となります。また、他人との議論や協働を通じて自己研鑽を積み重ねていくことが新たな発見にもつながります。伝統ある大阪工業大学を卒業・修了したことに誇りを持つとともに、「協働の精神」を忘れずに、第一歩を踏み出してください。皆さんが社会で活躍されますことを祈っています。



工学部長
大学院工学研究科長
井上 晋

人として大事なことを

皆さん、ご卒業・修了おめでとうございます。まずは、成長を見守り支援して下さった保護者の方々に御礼を述べて、社会人への一歩を踏み出してください。AI（人工知能）の進歩で世の中は大きく変わろうとしています。人でなければできないこと、人だからこそできることをめざしてください。人の気持ちに寄り添えるのは人だからこそです。迷ったり落ち込んだりしたときは、いつでも古巣を訪ねてください。大阪工業大学の教職員はいつまでもあなたの味方です。



ロボティクス&デザイン工学部長
大学院ロボティクス&
デザイン工学研究科長
大須賀 美恵子

成長への挑戦を続けて飛躍しよう

ご卒業おめでとうございます。人工知能やIoT、VRなど情報革新技術は、あらゆる分野に想像を超える変化と発展を生み出します。変化に対応できる実力を養い、成長への挑戦を続けて大きく飛躍してください。皆さんの活躍を願って3つの励ましの言葉を贈ります。健康に留意して充実した社会人生活を送ってください。



情報科学部長
大学院情報科学研究科長
大島 一能

- 1 挨拶や対話力など社会人力を高めよう。
- 2 前向きに仕事に取組み技術力・実践力を磨こう。
- 3 組織や業界の状況を知り目標を描いて前進しよう。

無限の可能性に向かって！

皆さんご卒業おめでとうございます。大学時代の楽しい思い出を胸に、新社会人として元気よく羽ばたかれると思います。

社会に出た後、常に夢や志を持って、毎日創意工夫されれば、大きな飛躍ができます。現在は大変革の時代であり、ものすごいスピードで社会が変わっています。この変化を敏感にキャッチし、素早く対応できた人には無限の可能性が広がっています。どのくらい真摯に仕事に打ち込み、周りに感謝し、環境の変化を常に注意し、先を読んで準備できるかによって、数年後大きな差が付いてきます。仕事に楽しさややりがいを感じながら、夢のある幸せな人生を歩んでください。



知的財産学部長
林 茂樹

「一隅を照らす」人であれ！

ご卒業・修了おめでとうございます。「一隅（いちぐう）を照らす」という言葉を贈りたいと思います。各自が置かれた場で精一杯努力し、明るく光り輝くことにより、結果的には社会全体が明るく照らされるという意味です。自分の持ち場で全力を尽くすことが大事だという考え方です。



大学院知的財産研究科長
小林 昭寛

進む道は人それぞれですが、それぞれ一所懸命に全力を尽くされることを祈っています。時には苦しいこともあるでしょうが、明るく前向きに自分の道を進んでいってください。

卒業生特集

大学院生

広視野な生き方

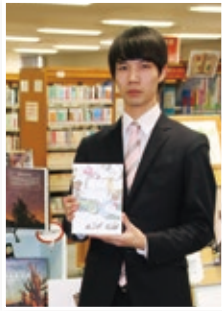
工学研究科 電気電子工学専攻

前田 賢吾

就職内定先 近畿管区警察局

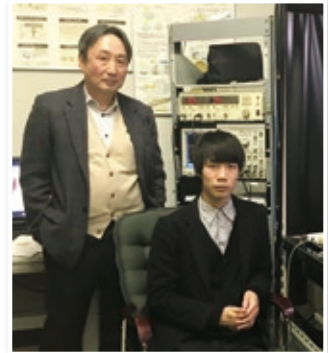
ビブリオバトル

ビブリオバトルとは、お薦めの著書を紹介し合い最も読みたいと思う本を投票で決める大会です。私は、首都決戦で藤井旭氏の「全天星座百科」という星の本を紹介しました。星座や神話について熱弁し、愛する星の話で大勢の人を笑顔にさせた経験は一生ものです。人を通して素敵な本と出会い、本を通して素敵な人と出会う。この様な浪漫溢れる大会で本や星を共有出来たことに感謝です。皆さんも読書に染まり新たな発見をしてください。



感謝の言ノ葉

もうすぐ終わる私の大学生活。出会いと感謝に包まれたかけがえのない私の6年間。大学生活では多くの出会いがあり別れがあり、そのような人と人との結びが自分色の着色に繋がります。私は多くの人達に支えられ現在に至り、中でも電気分野の奥深さを教えてくださった高校の担任、電波や無線、光学という新たな分野を伝授してくださった西壽巳教授。そして、育ててくれた父母に感謝の意を込めて、ありがとうございました。



国民の味方

4月から働く近畿管区警察局は、目には見えない電波を扱い警察活動を支え国民を助ける仕事です。小さな頃から無線が好きで無線技術者になることが目標でした。就職活動の際は陸海空の無線資格を携え、評価していただきました。今後起こりうる自然災害では最前線で、持ち備えた正義感と忍耐力を駆使し、得意の無線で多くの国民に安心を届けます。将来は警察学校教官として、無線や電波が大好きな技官を増やしたいと思っています。

留学生

学んだ知識を社会に生かし、 日本を起点として世界の舞台で活躍する

工学研究科 機械工学専攻

徐 冬燁 (ジョ トウヨウ)

就職内定先 株式会社ジェイテクト

充実した留学生活

私は、2010年に来日しました。母国で放映されていた日本番組のクオリティの高さに感動し、日本について調べるようになりました。ネットなどから調べるなかで日本は「ものづくり」において全世界でトップクラスの技術力を有していることを知り、得意としていた理系科目をさらに深めるため、日本での学修を決意しました。来日後の2年間は日本語学校で学習し、本学で機械工学全般に係る学修と非破壊検査に関する研究に取り組みました。学部・大学院を合わせた6年間は勉学だけでなく、毎年、留学生友好会に所属する留学生たちと関西近県に出向き日本文化や歴史について知得したことに加え、留学生同士の親睦を深めてきました。このほか、来日後から継続してきたアルバイトをとおして、学内では体感できない社会経験を多く積むことができた留学生活となりました。



努力よりもっと重要なのは“方法”

来日してから「頑張る」という言葉を頻繁に耳にします。努力は夢や目標を叶える要素として大切ですが、このほかに私が重要と捉えているのは“方法”です。一日24時間のうち、食事や睡眠の時間を除くと、努力できる時間は限られます。誰もが、それぞれの立ち位置で継続して努力されておられます。努力に加え、さらに重要なのは有用な方法を考えながら進めていくことだと考えます。夢や目標を掴むには、なるべく最短経路で進むことが重要です。学修面においても同じことが言えます。まずは、専攻分野における基本の原理を確実に理解したうえで、講義内で先生が繰り返し強調したポイントを聞き逃すことなく知識として得、自身の思考を含めてアウトプットできる過程を積み重ねていくことで、学修の質は変わってくると思います。



日本の舞台から世界の舞台へ

私は今春から工作機械や自動車部品を主とする製造会社に就職します。現在市場で流通している機械製品の性能を上回る安心且つ安全な製品を開発する中心的役割を担う立場になることが目標です。具体的には、自動車部品分野でトップクラスの技術者になりたいと考えています。日本は他国よりも時代の先を行く技術力を身に付けることに長けており、開発した製品は全世界で使用されています。私も、6年間で修得した技術力とこれから培う技術力を結集して、日本市場だけに留まらず、世界で称賛を得られる製品開発に取り組み、世界の舞台で活躍したいです。



卒業生特集

体育会

夢への挑戦

知的財産学部 知的財産学科

長谷川 成哉 (体育会硬式野球部) (履正社高校出身・甲子園出場)

就職内定先 ミキハウスフィールド(ミキハウス)

悔しさの残る4年間

「もっとやれた・・・」私の大学4年間は、この一言に尽きます。硬式野球部は文武両道を重んじるチームだったので、単位取得が思うようにいかなかった私は、入学してから2年間、リーグ戦に出場することができませんでした。3年生になりようやく出場する機会を与えてもらいましたが、リーグ戦では自分の力を発揮することができず、中心選手としてチームを引っ張ることができませんでした。最後のリーグ戦では自身のキャリアハイの成績を残すことができましたが、チームの目標の神宮大会に出場することが一度も果たせなかったのが今でも悔しいです。

今までの野球人生で自分の結果が出ず、チームも思うように勝てないのは初めてでしたが、その中でチームメイトと一緒にもがいた経験を、次のステージでの糧にして力を発揮したいと思います！



感謝

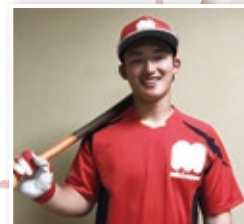
小学3年生から始まった14年間の野球人生は、家族の支えがあって続けることができました。忙しい中、毎朝弁当を作って送り出してくれた母親、リーグ戦で使用する道具を支援し陰ながら応援してくれた父親、自主トレや悩んでいるときにいつも支えてくれた兄貴、リーグ戦のときはいつも応援に駆け付けてくれた家族には本当に感謝しています。家族には負担ばかりかけていましたが、この家族でなければここまで野球を続けることはできなかったと思います。

そして、野球では私を精神的に支えてくれたチームメイトの同期や後輩に感謝の気持ちで一杯です。毎日の練習の行き帰りに本音で意見を交わして、ときには私のストレス発散にも付き合ってくれ、一緒に遅くまで取り組んだ自主練習は私が一番成長できた時間でした。人間的に尊敬し高めあうことができたチームメイトのおかげで、私自身は成長できて価値観が変わり、本当にいい仲間に出会えました！

夢に向かって

4月からはミキハウスに就職し、アマチュア野球の最高峰である社会人野球に身を置きます。幼い頃からの夢に向かってようやく真剣に向き合う時が来たのかもしれません。私の夢は家族の夢でもあります。父親や兄貴が叶えられなかった「プロ野球選手になる夢」に挑戦します。そして、そのためにも、今まで同じ夢に向かって頑張ってきた仲間が果たせなかった想いを背負って全力で努力しなければならないと思っています。夢が叶えば家族への感謝の気持ちを形にできます！

必ず最高の結果で家族孝行をしたいと思います！



文化会

わくわくする気持ちを大切に挑戦し続ける

工学部 応用化学科

大東 央 (文化会OCF軽音楽部)

就職内定先 三菱自動車エンジニアリング株式会社

涙の引退ライブ

現役最後に行った引退ライブは、私にとって大切な思い出の1つです。このライブでは、引退する先輩が主役です。ライブ中は、先輩が後輩に「音楽の楽しさ」「今までの感謝」などの思いを伝えながら演奏し、例年盛り上がりを見せます。終始楽しいライブですが、私達が引退する事を悔やみ、何度も後輩が泣く場面がありました。盛り上がったライブも、引退を悔やんで泣いていた後輩も、私の大切な思い出です。

リーダーシップの大切さ

OCF軽音楽部は、部員100人を超えるクラブです。部員全員を率いて行事を行うことはとても大変で、いつも部長や他の幹部たちと

協力して一つひとつを乗り越えてきました。私は渉内という役職でしたが、役職の垣根を越えて周りの幹部を積極的にサポートしていました。クラブ活動を通じて、人とのコミュニケーション力や統率力を磨き、組織を運営するためには多大な努力と協力が必要だと実感しました。OCF軽音楽部にいたからこそ得られた経験だと思います。

新しいことを始める

私は春から、自動車を製造する会社に就職します。大学では化学を専攻していたので、全く違う分野の道に進むことになります。仕事に対しての不安もありますが、それ以上にわくわくする気持ちの方が強いです。知らないこと、新しいことに囲まれながらの仕事になるとありますが、それを全て吸収し、自分のものにする勢いで仕事に取り組んでいきたいです。



卒業生特集

梅田キャンパス

今できる最大限のことを

工学部 空間デザイン学科

仲庭 千晶 (城北祭実行委員会)

就職内定先 積水ハウス株式会社

メリハリをつけて時間を有意義に

私は4年間で様々なことを経験しました。学業はもちろん部活動にアルバイト、プロジェクト、就職活動そしてあらゆる場所へ足を運び新しい発見をしました。一番大切にしていたことは言い訳をしないこと。平等にある時間の中でどう過ごして成果を出すかは自分次第です。そして4年間はあっという間です。だらだらと課題をしない。遊ぶときは遊ぶ！バイトはバイト！などメリハリをつけて積極的に挑戦して有意義に過ごしてほしいです。



自分の夢をあきらめずに

私は最後の最後まで就職活動を続けていました。課題との両立で追い込まれながら活動し、くじけそうになりましたが双方妥協

はしませんでした。この活動は私にとって今までの人生を振り返ったり、自分に足りないことを気付かせてくれたりと、得られることがたくさんありました。採用面接では様々なことを聞かれるので学生時代に引き出しを増やしておくことは大切です。ありのままの自分を見てくれる企業は絶対に現れると思います。



幅広い知識をつける

私の夢はお客様に居心地の良い住まいを提供することです。小学生の頃から人の暮らしに関わる仕事をしたいと考え、今そのスタート地点に立ったところです。目下の目標は2級建築士の資格をとること。お客様にとって家を買うということは一生における大きな決断です。笑顔で私らしく、安心して任せてもらえるよう建築系にとどまらず広い視野で知識を身につけていきたいと思っています。



枚方キャンパス

充実した学生生活を

情報科学部 情報システム学科

藤原 直道

就職内定先 株式会社日立システムズ

様々な交流を

大学生になってからの4年間はあっという間に過ぎ去ります。学生生活の中では、様々なつながりを作り、学ぶことが大切だと感じました。学園祭やゼミ活動、サークル活動などを行うときは必ず友人たちと共に物事を進めていきます。そういった団体行動の難しさや楽しさは1人だけでは経験できません。多くの友人たちとのつながりがあったからこそ4年間でとても短く感じたと思います。4年間で多くのつながりを作り、楽しんでください。



考えることを続ける

4年間の中で苦労したのは、正確な答えが用意されていないもの



を自分自身で考えることです。これは今まで経験しなかったことでした。就職活動や卒業研究がそうですが、はっきりとした答えがない物事の解決法を考えるのはとても難しいです。途中で諦めて投げ出しそうになることが多々あります。しかし、考えることを続けると物事は必ず前進します。そしてこの経験があったからこそ、得られるものがたくさんありました。

人に頼ってもらえるようになる

私は、仕事は1人で行うものではないと考えています。様々な立場の人と接しながら、仕事を行っていきましょう。そうした中で、「あいつに相談すれば大丈夫」と人から頼ってもらえるようになることが私の夢です。そのために、仕事に関する勉強はもちろん、多くの人とコミュニケーションが取れるよう、自分自身のスキルを上げていきたいです。苦しいことも諦めず、多くのことに挑戦して、人に頼られるように頑張りたいと思います。





「2017年度文化会・体育会合同 リーダーズセミナー」を開催しました

2月23日、文化会本部・体育会本部が主催し、梅田キャンパスにて「2017年度文化会・体育会合同リーダーズセミナー」を開催しました。

本セミナーは「リーダーとしての心構えや、社会に出て働いていく上でクラブ活動で培ってきた経験をどのように活かしていくか」をテーマとし、全クラブ89団体の幹部学生約300人が参加しました。

午前のプログラムでは、日本を代表する大手企業の関西電力株式会社、スズキ株式会社のご担当者からリーダーシップやリーダーに求められる役割を中心に講演いただき、参加学生は熱心に聞き入っていました。



た。質疑応答も活発に行われ、非常に有意義な時間となりました。

午後のプログラムでは、文化会・体育会に分かれ、学生課の担当者が「クラブマニュアル」に沿って、各種届出・会計管理・その他注意事項について説明を行いました。クラブ活動をするにあたり必要な内容ばかりであり、参加者は緊張した表情で説明に聞き入っていました。

本セミナーを経て、今後、幹部学生が素晴らしいリーダーに成長し、各クラブ団体の活発な活動を率いてくれることを期待しています。



大学院の給付制奨学金が充実しています！

本学では、2018年度新入生から、学内進学者向けの給付制奨学金を充実しています。注目は、「大学院入学前予約採用型給付奨学金」です。採用資格を満たす方全員に2年間で最低67万円以上を給付。

さらに、TOEICスコア550点以上を有すれば20万円が給付されます。経済的な負担を軽減し、学部時に掲げた研究テーマをさらに深めるための「2年間の学び」を強力にバックアップします。

2019年度入学者対象 大学院学内奨学金制度の概要(学内進学者限定)

いずれも給付制奨学金。
外国人留学生は除く。

奨学金の種類	New! 大学院 入学前予約採用型給付奨学金		New! 大学院 グローバル人材奨励給付奨学金		大学院 特待奨学金	
	博士前期課程	専門職学位課程	博士前期課程	専門職学位課程	博士前期課程	専門職学位課程
給付額 (年額)	【学科内成績最上位者】 (1年次時)57万5千円 (2年次時)50万円 【学科内成績最上位以外の者】 (1年次時)37万5千円 (2年次時)30万円	【学科内成績最上位者】 (1年次時)60万円 (2年次時)50万円 【学科内成績最上位以外の者】 (1年次時)40万円 (2年次時)30万円	20万円		年間授業料の 全額相当額 (100万円)	年間授業料の 全額相当額 (120万円)
採用資格	本大学院所定の入試 ^(※1) により合格した学生で、 学業・人物ともに優秀と認められる者		本学の学内進学者および学内進学した在学生で、 出願時にTOEICスコアが550点以上を 有する者 ^(※3)		学部3年次までの成績が極めて優秀で、 経済的理由のため就学が困難と認められる者で、 TOEICスコアが450点以上を有する者 ^(※3)	
採用定員	採用資格を有する者		採用資格を有する者		原則、各学科1人	
給付期間	2年間 (継続審査無し)		1年間 (在学時1回限り)		2年間 (1年次末に継続審査あり)	
出願について	入試出願時に合わせて出願 ^(※2)		4月に説明会を実施		不要	

※1 所定の入試は、博士前期課程は学内進学者入学選考、専門職学位課程は学内進学者入学選考または、早期進学による所定の入試を示す。

※2 専門職学位課程の早期進学者については、説明会を11月に実施予定。 ※3 スコアレポートを提出できる者

学生相談室 だより

人生100年時代到来!?

学生相談室 友尻 奈緒美

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。それぞれの思いを胸に、今新たなスタートラインに立たれているでしょうか。

2016年、リンダ・グラットンとアンドリュー・スコットによって書かれた「LIFE SHIFT—100年時代の人生戦略」という本が刊行されました。本書によると、平均寿命は延び続けていて、先進国の今20歳の方が100歳以上生きる確率は半分以上とされています。この予測が現実になるかはまだ分かりませんが、過去50年で日本の平均寿命は10年以上延びており、大学生の年代の皆さんにとって100年生きる可能性はより身近になってきているようです。

これまで「教育・仕事・引退」と捉えられてきた人生のステージは、今後多様化すると言われていています。寿命が長くなる分、働く期間が延びるというだけでなく、学び直しをしたり、働き方を変えさせたりする人も増えるでしょう。そして、自分を育てていくこと—新たな人脈を切り開いたり、スキルアップに挑戦したり、打ち込める趣味を探したりと、自身の可能性を積極的に広げていくことも、長い人生を心豊かに生きることに繋がっていくのではないのでしょうか。

卒業される皆さんが、人生を健やかに歩んでいけることを願っています。



国立青少年教育振興機構から 「法人ボランティア表彰」を受賞

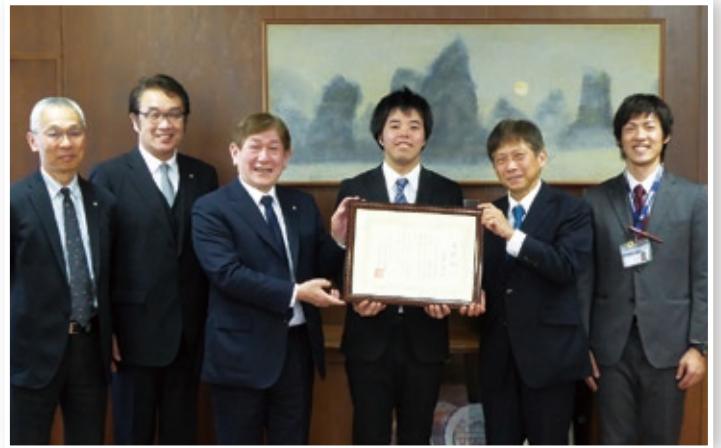
伊藤大地さん(A4)が、独立行政法人国立青少年教育振興機構から「法人ボランティア表彰」を受賞され、2月23日、本学学長室にて授与式が行われました。

この賞は、「体験活動を通じた青少年の自立」をめざす同機構の種々の活動におけるボランティアとして、その活動が他の模範として高く評価されその功績を称えられるものです。今年度は全国で28大学47人のうちの1人として伊藤さんが選ばれました。

授与式には、表彰者を代表して大本晋也氏(独立行政法人国立青少年教育振興機構国立淡路青少年交流の家所長)、郡茂史氏(同 ボランティアコーディネーター)が出席され、西村泰志学長、岡山敏哉学生部長、藤村敏彦学長室長が同席されました。

表彰した大本所長は「伊藤さんは、3年前から私どもの活動に参画され、その貢献度は特筆すべきものでした。特に例年夏に開催している徒歩で淡路島を一周する『ジュニアチャレンジ淡路島一周』では、10泊11日の過酷な状況下、子ども達へのきめ細やかな安全配慮をはじめ、難しい指導が要求されるなか、その役目を立派に全うしてくれました。このかけがえのない経験を、今後の人生に是非生かしていただきたいと切に願っています。」と今後の活躍を期待されました。

表彰を受けた伊藤さんは「ものづくりに対する精神を養うためにも、人への思いやりや繋がりなどの視野を広げたいと思い、ボランティアを



記念撮影(左から藤村学長室長、岡山学生部長、西村学長、伊藤さん、大本所長、郡氏)

始めました。活動では、子ども達の興味や関心、安全配慮などについても学ぶことができたいへん有意義なものでした。将来は建築士として社会に貢献したいと思っており、この経験を生かしていきたいです。」と抱負を述べました。

西村学長は「本学では、製作等を通じた“モノ”に対して高く評価される学生が多いなか、今回このような“人に対する優しさ”が高く評価されたことはたいへん喜ばしいことです。建築の真髄と言っても過言ではない『利用する人への気持ちをいかに汲み取って設計や製作に携われるか』に通じるものがあります。本学としても、今後伊藤さんに続く学生が輩出されることを願っています。」と力強く語られました。

伊藤さん、おめでとうございます!



表彰状授与
(左から伊藤さん、
大本所長)



伊藤さんの
活動内容を
映像で紹介



大成建設外国人留学生奨学金に 本学留学生が採用されました!

ジャネット ミカエラ スチプット(A1)さんが2018年度に運用を開始する大成建設外国人留学生奨学金(以下「本奨学金」)を受給することが決定し、2月15日に大成建設株式会社本社(東京都新宿区)で開催された受給証書授与式に出席しました。

本奨学金は、大成建設株式会社の寄附により、将来日本との懸け橋として活躍を期待される次世代建設技術者の人材育成を強化することを目的として、公益財団法人日本国際教育支援協会が実施している冠奨学金制度です。私費で留学していることに加え複数の厳しい審査基準を満たす留学生が全国から多数応募するなか、書類および面接選考を突破し、採用者5人の枠にジャネットさんが選ばれました。

授与式では、採用者を代表してジャネットさんが壇上から、本奨学金の支給のお礼と自身の留学目的に加え、採用者が本奨学金の目的を認識し各自

が果たすべき“役割”を確実に果たすために一層学修に努める決意を日本語で力強く語りました。挨拶後、出席者からの拍手がしばらく鳴り止まず、感動の余韻を残して授与式は幕を閉じました。

将来は
母国インドネシアの
建築技術向上に
貢献したいです。



採用者を代表して挨拶するジャネットさん



4月からの授業時間変更について

本学では2018年度から授業時間および授業期間を変更することになりました。

授業運営(時間・期間)の変更内容

- ① 1コマの授業時間を90分から100分に延長します。
- ② 各セメスターの授業期間を15週から14週に短縮します。これに伴い、クォーター科目は8週から7週での実施となります。(定期試験期間は、従来どおり授業期間とは別に6日程度設けます。)
(注)大学院知的財産研究科については、夜間に学ぶ社会人学生への配慮のため、従来どおり90分授業15回の授業運営を継続します。
- ③ 梅田キャンパス(大学院知的財産研究科を除く)においては、他キャンパスと同様に休憩時間を15分から10分に短縮し、昼休みを設けます。

◆ 授業時間

	全学部、大学院工学研究科・ ロボティクス&デザイン工学研究科・ 情報科学研究科	大学院知的財産研究科	
	大宮・梅田・枚方キャンパス	大宮キャンパス	梅田キャンパス
1時限	9:10~10:50	9:20~10:50	—
2時限	11:00~12:40	11:10~12:40	
3時限	13:30~15:10	13:40~15:10	
4時限	15:20~17:00	15:30~17:00	
5時限	17:10~18:50	17:20~18:50	16:50~18:20
6時限	19:00~20:40	—	18:30~20:00
7時限	—	—	20:10~21:40

※枚方キャンパスは5時限まで

外国人留学生歓送会を開催しました。

今年度の学位記授与式に先立ち、今年度、卒業・修了見込みの外国人留学生(以下、「留学生」)の前途を祝して、1月18日に留学生歓送会を開催しました。工学部8人、知的財産学部2人、工学研究科3人、知的財産研究科1人の計14人の対象者は、今年4月から、母国に帰国する者や日本での就職、または日本での進学など、それぞれの道へ進むことになります。

当日は、在学の留学生24人と学長をはじめ学部長・研究科長や対象者が修学過程でお世話になった先生方を含めた教職員32名が集い、卒業・修了見込みの留学生を囲んで、これまでの労をねぎらいました。

本会の中盤では、卒業・修了見込みの留学生より、苦労した日本語での授業、卒業研究やこれから始まる新たな旅立ちに向けての夢や抱負を語りました。

卒業・修了見込みの留学生の皆さんには、日本での留学中に体得した国際感覚と本学で修学した多様な知識や技術を生かし、これから、母国と日本との架け橋となり、また世界の舞台に大いに活躍されることを期待しています。



大変お世話になりました!

工大流就職支援③④ ~就職NEWS~

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。企業への就職、大学院への進学など、進路について真剣に考え悩んだ1年間、お疲れ様でした。大学に泊まって徹夜で研究をした日々、学生生活の全てをクラブ活動に注ぎ込んだ日々、先輩との人間関係に悩んだ日々、初めて経験したアルバイト先で嫌になるほど怒られた日々、勇気を出して一歩踏み出して経験したことがご自身を成長させ、企業等から認められて、晴れて社会に船出をされることと思います。これからの人生はうまく行くよりも行かないことの方が多いかもかもしれません。勝つよりも負けることの方が多いかもかもしれません。毎日が敗者復活戦のようなものです。たとえ、うまく行かなくても負けても焦らず腐らず立ち止まらずに前に進んでください。

日経HRが発行した「価値ある大学2018年版」の採用を増やしたい大学ランキングで、本学は全国9位にランキングされました。正に、大阪工業大学のブランド力を高め、後輩への新たな道を切り開くのは、卒業生の皆さんにかかっていると言っても過言ではありません。新天地での皆さんの活躍を期待しています。